

令和7年度 定期モニタリング評価表（中間）

実施用

施設名	枚方市立生涯学習交流センター・市駅前図書館	所管部署 (連絡先)	観光にぎわい部生涯学習課 (072-841-1409) 教育委員会中央図書館 (050-7105-8110)	令和 7 年 10 月実施
-----	-----------------------	---------------	---	---------------

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目	評価の視点
1 業務の履行状況	事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況 アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行っているかについて確認します。
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	経済性 料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	サービス水準 指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
2 業務の継続性・安定性	リスクマネジメント 緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。

施設の概要等

所在地	枚方市岡東町 1 9 番 1 号	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に係ること。 ・読書案内及びフレンズに係ること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に係ること。
設置目的	市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するに於て、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることができる環境を醸成し、並にこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。		
指定管理期間	令和6年6月1日から令和10年3月31日 (2024年6月1日から2028年3月31日)		

指定管理者

名 称 (JVの場合はグループ)	株式会社図書館流通センター	代表団体 (JVの場合)	
所在地 (JVの場合は代表団体の所在地)	東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号	構成団体 (JVの場合)	

1 業務の履行状況

① 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイント	この評価の基準
5 計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。	
4 計画以上の良好な管理運営を行っている。	
3 計画どおりの適正な管理運営を行っている。	
2 一部計画どおりできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。	
1 全く計画どおりできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。	

評価ポイント	指定管理者による一次評価	所管部署による二次評価	評価の根拠 (資料名等)
【施設の経営方針に関する事項】			
① 施設の現状に対する考え方及び将来展望			
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項9）			
-現状認識を踏まえた管理運営目標「すべての人に開かれた暮らしを彩る学び体系のインフラ」に基づき、各事業・サービスを実施している。	3 センターでは今年度も目標の規定数を上回る約60事業を計画しており、「市民主体のまちづくり」の伝統を継承する、新しい時代の生涯学習・社会教育を体現すべく、幅広い事業を行っている。	3 管理運営目標に沿った事業・サービスを実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
-公平性・平等性の観点で特に重点を置き、子どもからシニアまですべての市民がまちづくり・市民活動・生涯学習・読書活動を賑わせる管理運営を実現しているか。	3 枚方市の目指すまちの姿「持続的に発展し、1人ひとりが輝くまち枚方」を実現するべく、「すべてのひとに開かれた暮らしを彩る学びと体験のインフラ」を目標に掲げ、公の施設としての公平性・平等性に重点をおき、駅前再開発の目玉として交流にぎわいを作る事業を実施し、子どもたちの体験格差をなくすべく、すべての市民があらゆる活動を楽しむよう運営を実施している。 またイベントの受付についても「事前告知」「抽選予約」を基本とし、一部の市民や利用者にのみメリットが享受されることがないように図っている。	3 様々な市民や利用者に配慮した事業・サービスを実施し、公平性・平等性に重点を置いた管理運営をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
② 施設運営に関する計画			
ア) 管理経費・管理体制の提案			
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項11）			
-スタッフ全員が携行するライブリストアンドブックなどに基づいて必ず研修や管理運営に関する研修等の実施による法令遵守体制を構築しているか。	3 入社時に研修の他、スタッフの習熟レベル・段階ごとに研修を実施、様々なニーズにこたえられるようにスタッフ教育を行っている。また、法令遵守体制を維持するべく、年に1度は必ず個人情報に関する研修及びテスト監査を受けることで、全員の意識を統一させている。	3 研修の実績などにより法令遵守体制が構築できているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
-設置目的に沿った運営計画を策定し、計画に基づいて運営を行っているか。	3 設置目的を理解し、さらに管理運営目標である「すべての人に開かれた暮らしを彩る学びと体験のインフラ」を達成するべく事業計画を策定している。	3 施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、その計画に沿って運営をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適切に配置するとともに、利用者サービスの向上・効果的・効率的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている。（確認事項12）			
-混雑状況に応じた弾力的な人員配置を行っているか。	3 センターと図書館との一体運営であることや、カウンターが常に場所にあることから、どちらかのスタッフが1次対応ができるよう訓練や教育を行っている。具体的には、それぞれのカウンターでの対応はセンター・図書館共にどちらの用件でもどちらのカウンターに利用者が来られたとしても分け隔てなく対応し、双方のスタッフが利用者の用件（来館目的や内容）をしっかりと聞き取りしきうとして、目的のカウンターへお繋ぎし、利用者が不便や不利益のないように図っている。 オープン時の繁忙期間や感染症などで一時に勤務が出来ないスタッフが出た際などは市内外の図書館から応援勤務を実施し、利用者対応に不備がないように事前に対応している。今後も同時に大型イベント開催時や休日等の繁忙期には、必要時には平時に対応する体制に加え、臨時対応体制となることを事前にシミュレーションするなど、無駄のない弾力的な人員配置を行っていく。 9月の周年イベントでは、他館スタッフ2名と関西支社のエアマネージャー3名が応援に入り、現場の混雑緩和・案内などに努めた。	3 双方のスタッフが1次対応ができるような体制を整えるなどセンター・図書館の協力体制を整え、大型イベントなどの際に市内外の図書館から応援勤務を実施するなど弾力的な人員配置を行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
-他館スタッフの人的バックアップ及び支社・本社による支援体制を構築しているか。	3 感染症などで一時的な欠員が出た際には、市内他館からのフロー体制を実施し、運営に支障が出ないように努めている。また、本社・支社によるパックオフィス業務を分担することで、現場組織の管理業務を省力化し、より現場管理に注力できるような運営を行っている。	3 欠員の際には市内他館からのフローなど管理運営に支障が無い体制を構築しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
-優れた管理運営を行ため、管理運営基本研修や、専門研修、センタースタッフ育成研修など人材育成研修を実施しているか。	3 大阪ガスビジネスクリエイツと協業し、センター業務・生涯学習業務について毎月1回程度の定例的な会議の場を持ち、実務面での相談対応やフォローを受けることで、さらなる人材育成や教育の一助としている。（別紙参考） 今後も引き続き大阪ガスビジネスクリエイツとの協力体制を維持・構築することで、管理運営への知識・認識をよりアップデートさせていくとともに、自分たちでもQAシートの作成・配布による業務知識の再確認やアップデートを行い、今後も「館内のロールプレイング研修」を行なう予定としており、これらを通じて接遇力アップ、さらなる能力向上を定期的・計画的に図る。それ以外でも専門研修やビジネスマナーに特化した内容の研修等、社会教育施設を運営するうえで必要な事項や情報を共有するための研修等を適宜実施することで、スタッフ全員が優れたサービスを提供できるよう研修をしている。	3 枚方市の生涯学習市民センター4館の運営実績がある大阪ガスビジネスクリエイツ株式会社の協力のもとセンタースタッフ研修を行なうなど、施設の運営に関して必要な人材育成研修をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
事務スペースが1か所に集約されることを踏まえ、業務を実施するための従事者の兼任など、有効な業務実施体制や人員配置及びスペースの有効活用等について提案されている。（確認事項13）			
-図書館の専門的知識を要しない範囲の業務における運営スタッフの生涯学習業務と図書館業務の兼任。また、サービス向上の観点から地域連携・広報サービスアドバイザーとして広報担当者と地域連携担当者を配置するなど、人員配置計画を策定し、実際の業務量等により柔軟に対応している。	3 初当提案した人員配置計画通りの体制を実施するうえで、経験や資格保有者の数など、各要件を満たすことはもちろんのこと、年齢、性別、経験等で多様なバックグラウンドを持ち、センターと図書館の運営に意欲的な人材の採用と確保を行っている。	3 適正なスタッフの配置に加え、「広報担当者」「地域連携担当者」を配置しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
-生涯学習・地域活動等の経験を有する者、書籍格保有者、図書館勤務経験者、地元在住者など、各要件を満たす人材を確保するとともに、採用に当たってはダイバーシティの観点から多様なバックグラウンドを持つ人材を公平に選考・採用しているか。	3 初当提案した人員配置計画通りの体制を実施するうえで、経験や資格保有者の数など、各要件を満たすことはもちろんのこと、年齢、性別、経験等で多様なバックグラウンドを持ち、センターと図書館の運営に意欲的な人材の採用と確保を行っている。 加えて、提案した「広報担当者」「地域連携担当者」をそれぞれ配置し、さらなるサービス向上に努めている。「広報担当者」は館内の掲示物やイベントチラシ、ポスターなどの作成、またSNSで施設の様々な様子を発信することで館内外のブランドイメージの維持管理を、「地域連携担当者」は新規事業の企画立案・関係者との調整などを中心に行っていている。また、ダイバーシティの観点からも日本国籍に限らず多彩な採用を実施し、多角的な運営ができるよう人材配置を実施している。	3 対して実際に外語の人材を採用するなど多様なバックグラウンドを持つ人材の採用をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。単なる採用・配置にとどまらず、何を目指す取組みのかを明確に努められたい。	ヒアリング

・指掌管理者が作成している業務改善に関するガイドラインを参考に、スペースの有効活用や業務方法について検証し、効率的・効果的な運営体制を構築しているか。	3	事務所および倉庫などのスペースはセンターと図書館で共用するなど、スペースを有効活用している。また、人員だけでなく備品類も共用することで、より効果的・効率的な運営を実施している。	3	スペースや備品を生涯学習市民センターと図書館で共用することで、効果的・効率的な運営体制を構築しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料	
(イ) 利用者サービス向上提案（生涯学習交流センター）						
講堂の利用率増加に向けた取組み及び活動する団体の登録数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている。（確認事項14）						
・接遇研修・アグレシブスピーティ研修や清潔空間の維持、室内装飾といった日常的な取り組みに加え、休館日を活用したセルフチェックの実施など、快適性の向上に向けた取組みを行っているか。	3	「誰もが利用できるから『誰もが利用しなくなる』を目指し、引き続きより心地の良い空間づくりに取り組んでいる。 「荷物置き場」の方は設置後利用者のからの評判もよく、ロビー内でも便利で使いやすい姿が見られる。 センターの利用促進策として、新規利用者の獲得と新規設の設置の披露を兼ねて、8月15日（金）にイベント「交流センター ルームツアー」を実施した。（参加者1人定員30人）各諸室の様子を貸出備品の説明などを交え、30分程度の動画を録画した後、交流ロビー・屋上スペースなどの各所をリアルに紹介した。参加者は今後センターでの諸室利用を前提にしておられる方にとって、イベント中も終了後も、「より詳細を知りたい」と質問を熱心にされるなど充実した内容となった。	3	館内装飾をすることで、明るく心地のいい空間づくりを行なうなど快適性の向上に向けた取組みを行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）	
・掲示物の適切な管理、チラシ類の効果的な情報管理・発信、デジタルサイネージの効果的な活用、活動メニュー／募集ポスターの掲示・チラシの配布といった利便性の向上に向けた取組みを行っているか。	3	掲示板を「枚方市からのお知らせ」活動団体の会員募集」「交流センターからのお知らせ」「図書館からのお知らせ」等と内容別に掲出する場所を分け、より効果的に発信ができるように掲示・管理している。 また、自主提案で用意したデジタルサイネージでは、各月開催のイベントを発信。館内のイベント情報の告知に活用することで、利用者へ積極的に情報を発信し、交流ロビーを使用する人、サークル活動にやってきた人、図書館利用者、すべての人に広く情報発信が出来るよう取り組んでいる。	3	日々、他の施設や利用者がから寄せられるチラシについては、整理の上、掲示・管理され、デジタルサイネージではイベント情報を発信するなど、利用者の利便性の向上に向けた取組みを行っているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）	
・地域の関係団体、民間企業や地域外の人々、団体とも連携・協働した「共創」による事業の充実がなされているか。	4	昨年9月のグランドオープニングイベントに引き続き、今年度も周年イベント(knot hirakata 2025 にょき)では、普段センターでサークル活動を行なうサークル団体以外に、下記の内の近隣施設や団体に協力いただき、多種多様な事業を13個実施した。 【地域市民連携】 大阪府立松方なぎさ高校吹奏楽部「オープニングロビー・コンサート」（参加84人、定員30人） グルクンマスク「現役プロフルート指導！ 大人のための自重トル講座」（参加16人、定員40人） 【地域団体連携】 ティーカラボ「ティーカラボの工作教室 輪ゴムを作ろう」（参加13人・キットのみ購入者7人 定員20人） 星ヶ丘洋裁学校「星ヶ丘洋裁学校の手作り小物ヨークショップ」（参加19人、定員30人） 枚方市演奏家クラブ「ブラングランナイト」（参加56人・定員60人） エムカーピング「カブリソーフカービング」（参加8人、定員12人） 写真興業「お散歩カラフルカラスマドでゆるると写真を楽しもう」（参加7人、定員15人） センター活動団体(全1団体)「サークル活動発表会」（参加 157人（延べ） 定員70人）	4	「地域市民連携」「地域団体連携」「地域民間連携」を行い、多様な事業展開を行っている点や「地域連携担当」を中心とした市の事業者の新規開拓を行い、新たな連携・協力が生まれることで、これまでの生涯学習市民センターでは行なっていた事業を実施していることについて、計画上の良好な管理運営を行なっていると評価できる。今後も様々な関係団体に連携しながら、事業を充実させていくことを期待する。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）	
・枚方モールに入居しているテナントや周辺施設との連携、周辺施設へのPRカードの設置といった立地を生かした広報戦略を行っているか。	3	周辺施設である「枚方ピオルネ」・「枚方T-SITE」とは、昨年9月のオープニングイベント以降も引き続き連携して推薦図書の展示や、お互いのイベントチラシ・パンフの設置等での連携を実施している。 9/23実施の「ARGOUNO HIRAKATA(オータム)」にて、図書館では「絵本広場」での絵本紹介や宵空おはなし会を、センターでは1日2回の「ロビーコンサート」を実施することで、イベントを通しての枚方モール全体の賑わいや周辺地域へのにぎわい創出へ貢献した。 枚方モールに入居しているテナント「shikumi56」には、昨年9月のグランドオープニングイベント時にイベントパンフの設置をしていただき以降、引き続き広報誌knot(e)やPRカード・ショーカードの設置などをななうことで連携を継続している。 他にもトトデミには、「子ども向け」「体を動かす」等、テナント事業と親和性の高いイベントを行なう際には、イベントの告知チラシを置いてもらうなどの形で告知に協力している。	3	周辺施設と連携し、チラシ等の設置を行うとともに、入居する商業施設との確実に合わせたイベントの開催等、立地を活かした取り組みを行なうことから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）	
・見学ツアーやバーチャル諸室案内、YouTubeによる活動動画の録画配信、SNSによる情報発信・活動のライブ配信といった、諸室や活動の様子を気軽に見ることができ配る機会の提供を行っているか。	3	HPIは開館前「360度バーチャル諸室案内」を掲載し、新施設の状況をいち早く市民の皆さまや利用者にお知らせし利便性の向上に貢献したほか、9月のイベントの様子は記録映像にて「グランシムービー」やyoutubeの登録チャネルにアップした、SNS(Instagram)では、日々の活動やイベントの様子をお知らせしている。 その他にも、今月8月には新たに連携して交流セミナー「ロビーアワー」を実施。 なお、Instagram登録者数は、開設後5ヶ月で約1,000人を突破した。（2025年10月4日現在のフォローバー数は1,072人） 今年9月に行なった周年の記念イベントである「(knot hirakata2025 にょき)」は、報ステがその記録動画を撮影しており、現在編集作業中である。（今年度中に記録動画をYouTubeチャンネルにアップする予定）	3	バーチャル諸室案内Instagramを用いて日々の施設の様子やイベントの模様を細かに発信するなど、諸室や活動の様子を気軽に見ることができ機会の提供を行なっているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング ホームページ Instagram Youtube 取組事例	
・登録団体の協力による活動体験会やオンラインでのイベントお試し枠の提供、活動団体の立ち上げサポート、登録団体によるトークセッションといった体験する機会の提供や体験者・利用者・活動団体の声の発信を行っているか。	3	実際に活動状況やサークルの雰囲気を見ていたりながら「サークル活動見学会」を6月16日～29日の約2週間で実施。（参加サークル13団体、参加者 9人）見学OKのサークルは「見学OKのPOP」に入口に掲げていることで、より自由な交流が囲まれるように工夫した。 実際に見学した方の中から来年度の活動参加希望者が現れたときに、参加サークルの方から喜びの声をいたしました。 広報誌knot(e)は2025年1月以降、引き続き紙面内のコーナー「学び百景」にて活動団体の紹介を実施。他団体からも「自サークルの紹介も載せて欲しい」という声があるなどその反響は大きい。（これまでに4団体が掲載、今後も継続予定）	3	センターによりknot(e)紙面内のコーナー「学び百景」に掲載したセンター活動団体の声の発信を行なっているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング ホームページ Instagram Youtube 取組事例	
・ロビーを含む生涯学習センター全体の利用者数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている。（確認事項15）						
・混雑状況の可視化・発信や、ICT機器の操作等に不慣れな利用者に対するデジタル・コンシェルジュによるサポートを通じて気軽に来館・利用できる環境づくりを行っているか。	3	HPIは混雑可視化のAI装置設置し、施設予約システムの操作等については、全スタッフが「デジタル・コンシェルジュ」として、パソコン画面の操作方法等でお困りの方がいらっしゃる場合は丁寧に確認し、操作方法や使い方の説明などを行っている。	3	混雑状況をアイコン可視化し、施設予約システムの操作等については、全スタッフが案内できるよな体制を整えるなど気軽に来館・利用できる環境づくりを行なっているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング ホームページ モニタリング資料（取組事例）	
・ロビーを有効活用した、子ども向けのロビー工作ワークショップ、ロビー・コンサート、ロビー健康体操イベント、展示スペースでの市民活動団体によるギャラリートークといった市民参加型ミニイベントの実施を行っているか。	4	子ども向けロビー工作は今年度4回、全年齢向けのロビーでの工作系イベント1回、ロビーコンサート2回の計7回を実施した。 今年度は12月実施予定の「クリスマスロビーコンサート」を始め、合計8回実施予定。 予約必須のイベント以外にも、「交流センターに来れば、何かやってる」という期待感や来館の動機づけ(来館数アップのためのしきり)を行っている。 ・ロビー工作（子ども向け） 交流ロビーで気軽に立ち寄れる気軽な子ども向け工作イベントは、「敷居が高くななく、参加しやすい」「子どもたちも満足した」との声をいたしている。 「交流センターで遊びます」（おがむか・かぶくのめ）7月4日(日)実施（参加者 大人31人、子ども33人 定員40人） 「ボアアプ・アブラー～ひらひら、かさかさう～」6月14日(土)実施（参加者 大人17人、子ども16人 定員35人） 「夏だ！ うわに絵をひこ」7月6日(日)実施（参加者 大人12人、子ども15人 定員30人） 「魔鏡をくつぐよ」8月17日(日)実施（参加者 親子27組 定員20組） ・ロビーイベント（創作作品・全年齢向け） 「レトロな絵本・金版でボストカード・ブックカバーを作ろう」6月28日(土)（参加者 30人 定員40人） 年齢問わずで簡単にできる創作系イベントを広く、広く交流ロビーで開催。 京都最古の出版社「法蔵館」より講師を招き、江戸・明治・大正期から伝わる木版「金版」を使って自由にスタンプし、オリジナルのボストカードやブックカバーを作ることができる企画を、近隣のギャラリーで同日開催の出版系イベント「ブックバザール」（図書館でもブース出展あり）に合わせて同日に開催することで、市駅前周辺に「ぎわい」創出に貢献した。 大人子女も楽しめる内容に、家族で参加し、じっくりとお気に入りの版を探したり、押す場所を悪戯するなどそれぞれに楽しむ参加者の姿はもちろんのこと、法蔵館のスタッフが「かわいい」「かわいい」と江戸時代の印刷技術で作成した本（竹版）の解説を順次先生たちが行なうなど、ロビー開催といふことで、イベントに参加した方だけではなくまたま通りすりがたいたいのセンター利用者にも、誰もが気軽に遊び「発見」があるイベントすごことができる。 ・ロビーコンサート 「ようこそロビーコンサート」8月2日(土)（神野朋子（枚方演奏家クラブ所属）出演、参加者 53人・全2回 定員60人。） 「ロビーコンサート EnsembleQoo木管五重奏」9月23日(火・祝)実施（EnsembleQoo出演、参加者 197人・全2回 定員60人。） 「良質な音楽を、気軽に楽しめていただけるように」とのこと、若手演奏家から、実績のあるベテラン演奏家まで、内容選択に幅広く選定して実施。 参加者からも「こんな風に気軽に上質な音楽が聴けるなんて嬉しい！」と大変喜ばれていた。 今後も引き続き頑張る企画を実施することで、交流ロビーの有効活用と施設の認知度アップを継続していきたい。	4	ロビーコンサートやロビー工作など、図書館などの目的の施設を訪れる市民も気軽に参加できるイベントが定期的に実施されている点や、ロビーの有効活用のめまぐるしさ、生涯学習センターの魅力の「一助」となっている点が計画以上の良好な管理運営を行なっていると評価できる。引き続きロビーを活用したイベントを実施していくべきだ。	ヒアリング 現地確認 モニタリング資料（取組事例）	
利用者によって魅力的な物品販売や新たな備品の貸し出しなど事務所サービスが具体的に提案されているか。（確認事項16）						
生涯学習交流センターの魅力アップのための備品等の新規設置等について、具体的なアドバイスが提案されている。（確認事項17）	3	昨年度はボーダーム19点、移動式譲り受け台2点、譲面台5点を購入。今年度は利用者の要望で移動式譲り受け台3台として「貸出中で使えない」ということのないように取り扱った。 これらの施策により、諸室利用者にセンターよりの魅力アップや利便性向上に貢献している。 今後は事業計画書に先記している購入予定の物品（授乳ケープ、乳幼児用ハイチャア等）やその他の物品についても、利用者の要望や状況に応じて都度検討し、タイムリーに対応できるよう、利用者との密なコミュニケーションをして対応していく。	3	事業計画に記載の備品のほか、利用者からお望いに基づき備品購入・貸与をしているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） 現地確認	
(ウ) 利用者サービス向上提案（図書館）						
図書館の新規利用登録者を増やすための取組みが提案されている。（確認事項18）						

・スマート登録の周知強化、交流口レジ登録会の実施、商業施設やイベントとの連携による利用者登録会の実施、イベント申し込みと利用者登録との連動といった新規登録者を増やす掛け付けを行っているか。	3	・スマート登録やライン連携のQRコードをカウンターに常設し案内を行えるよう準備している。 ・図書館のイベントだけでなく、センターイベントのポスターなど図書館資料をならべ、イベント参加者にも図書館資料貸出説明している。 ・外部イベント参加時に、図書館をご存じない方への図書館の場所の案内や、二次元コードを用意して電子図書館やスマート登録への誘導を行っている。	3	スマート登録やライン連携の周知、センターイベントでの連携などの取り組みは本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。引き続い、人出の多い商業施設内や周辺で開催されイベント連携し、新規利用者、登録者を増やす取り組みを積極的に展開され、実際に新規登録につながるとともに実績の把握に努められることを期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている。（確認事項 1.9）					
・来館者が快適に利用できるよう、わかりやすい言葉遣い、公平性・平等性の認識と理解を高める研修の実施、書架整理の徹底といった日常的な取り組みに加え、休館日も活用したセルフチェックなど快適性の向上を図る取り組みを行っているか。	3	・接遇研修を実施する中で「書景」「本棚」「相手評価」「他の自治体から借りた本」など、利用者になじみのない言葉の言い換えを徹底。また、棚担当者を決め、書架の整備に努めている。休館日には書架の見直しなど快適な図書館づくりに取り組んだ。	3	利用者にわかりやすい表現を用いようとす る取り組みに加え、利用者の移動の線路上にあるオジイの移設、センター駅前へ返却ボックスの角の手すりで安全面に配慮していることから本市要求事項を満たし、事業計画どおり運営していると判断できる。今後も来館者が安心で図書館を利用できる環境整備に向けた取り組みを期待する。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
・利用者目線に立った、利用しやすい・安全な構づくり、利用者ニーズが高いパソコン・インターネット関係の資料をまとめた専用コーナーの設置、わかりやすい児童の掲示、子ども用スタッフの設置といった利便性の向上を図る取り組みを行っているか。	3	・パソコン・インターネット関連資料を集めたコーナーの設置、見出しのブラッシュアップを実施している。 ・利用しやすい構づくりのため、一般書のほぼすべての書架に面倒棚を設置。 ・令和7年、子ども用ステップを自動貸出機へ返却カウンター前に設置。 ・令和7年、小説・エッセイ・文庫・YA・漫画など150以上の書棚に、資料が棚奥に入り込まないようブックストッパーを設置。 ・7月おはなしスペース前に、このスペースの使い方の案内看板を設置。お子様連れの親御様が利用しやすい環境づくりに取り組んだ。	3	書籍の表紙を見せる面倒棚の設置は利用者に好評である。また、書架見出しのブラッシュアップで利便性の向上を図ることでの取り組みや返却ボックスは150台を設置済みで、棚の乱れを軽減され、利便性の向上に役立っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も児童書の面倒など、子ども利用者目線に立た魅了のある樹づくりに取り組まれるよう期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
・施設の設計コンセプトを体現する常設展示、交流口ピアット展示、季節を感じられる特設展示といったさまざまな特設展示による充実性の向上を図る取り組みを行っているか。	3	・ボタニカルウォールでは、「交流」をテーマに図書館員でなく枚方市内の様々な職業の方のおすすめの展示を継続。また、直近のイベントに関する資料や、終了したイベントで紹介した資料展示なども実施している。これらに加え、市民からの悩みを募集し、図書館員がおすすめの資料とともに悩みにお答えする「教えて！ライブアン」という企画を新たに立ち上げ運用している。市民からのお悩みは、インスタグラムや館内二次元コードから募集し、図書館の発信だけでなく市民と図書館の交流を図っている（現在2件）。 ・交流口ピアットではセンター・図書館で実施する事業の関連書籍を随時展示している。また、図書館員による月ごとの展示を実施し、様々な切り口の提案を行っている。 4月「ラッコのすせせかひ」 5月「一服、どうぞ」 6月「梅にしあしむ」 7月「梅にも育つ」 8月「水うちあおず、カラダとコロコロ」 9月「切ってひらく、紙のふしぎ」	3	ボタニカルウォールを活用した展示は市内事業者と連携を図るなど、図書館員以外のおすすめの展示を含め、鮮度を保ちながら様々な趣向を凝らして実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。オープヌースペースでのピアットは実際に当たり配慮をする面もあるが、引き続い、ての取り組みを期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
・定期読書会の開催（年6回以上実施）、一箱本棚オーナーの募集（年6回以上実施）、一期一会本棚の設置（常設）、GiftBookとの交換会の開催（年2回以上実施）、ビブリオバトルの開催（R8年度以降年1回以上実施）といった「図書館に行きたくなる！」本を読みたまな仕組みかけを行っているか。	3	・定期読書会開催 4月20日(日)実施（参加者 大人4人 定員6人）。 5月15日(日)実施（参加者 大人4人 定員6人）。 8月17日(日)実施（参加者 大人 1人 定員6人）。 「少人数でおなじみが変わって楽しかった」といった好評であった。8月17日は、読書会を児童にも体験してもらく、子ども限定で募集をしたが、集客されなかつた。結果が併わなかったものの、既存のイベントに対する創意工夫を続けたい。 ・一箱本棚オーナーの募集 セーターイベントで作成した箱を活用し、センター職員によるおすすめ本を設置中。今年度中には、募集・選定・展示といったオペレーションを確立し、市民参加を募集する。 ・一期一会本棚の設置 「きよのこだまほん」としてプロに設置。返却された本（誰かが一度借りている本から安心感がある）を書架に戻す前にブックトラックにて展示。普段手に取らないかもしけない本との出会いを演出しています。かなりの頻度で立ち止まってご覧いただいている。 ・GiftBookとの交換会 7月13日（日）実施（参加者 大人4人 定員10人）。本を交換するという一ドルのあらゆるオリジナルブックバーも好評いただき参加された方の満足度は高くなっています。読書会もそうだが、「市民同士の交流」は從来図書館の不得手とするところだとすると、参加者で交流を生むことができるこのイベントは継続していきたい。 ・「ビブリオバトル」の実施 9月6日(日)実施（参加者 3人 定員10人・観覧者：8人）。「ビブリオバトル」をご存じなく、興味本位で参加された方がおり、利用者の新たな引出しを開けるきっかけ作りができたでのほの発見があった。ただ、参加者が想定していたより少なく、今後の集客プランを念入りに検討していく必要がある。	3	事業計画書で令和6年11月に実施とされた一箱本棚オーナーの募集について、本格実施に向けてギリシャーン作成を確認した。自由に自分が好きな本を選び本棚を作ることで図書館に親しみを持つき満足度となる者参加型の興味深い取組であり、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。オープンスペースでのピアットは実際に当たり配慮をする面もあるが、引き続い、ての取り組みを期待する。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（取組事例）
図書館の魅力アップのための備品等の新規設置等について、具体的なアイデアが提案されている。（確認事項 2.0）					
・事業計画書で提案されている（荷物入れボックス、読書灯、読書用ハミコ、アートアンドアヘンス、ポップアートフレーム、レザーシートなど）図書館の魅力及び利便性の向上につながる備品については、利用者のニーズによって選定・導入してもらっているか。	3	・令和7年6月から荷物用カ、館内でご利用いただくメッシュバッグを「ご自由にご利用ください」の表示とともに設置。「使いやすく便利」というお声をいただいている。その他の物品についても順次導入のため検討中。	3	導入を予定している物品については既に準備済みあるいは活用も検討中であることを確認した。また、今後も当初の提案備品のほかにも、図書館の魅力及び利便性の向上につながる備品についても適正積極的に設置されたい。	ヒアリング 要現地確認 モニタリング資料（現地確認）
利用者の課題解決を支援するレフレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている。（確認事項 2.1）					
・市民のQ&L向上の実現に向けた、レフレンスサービスの認知度と利用率の向上、相談者の良好な相互コミュニケーションの取組、また利用者の自立的な図書館利用につながる仕組みづくりを行っているか。	3	・図書館活用講座や子ども向け図書館活用講座、図書館ツアーアクティビティの実施（参加者 大人4人、定員6人）。 ・図書館の魅力及び利便性の向上につながる備品については、利用者のニーズによって選定・導入してもらっている。	3	プロワークは図書館職員の業務の中でも重要なものである。図書館利用の促進にむづがるもので、図書館職員の声をかけやすい環境づくりに努めていることは、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後もより効果的な取り組みとして実現されること期待する。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・レフレンス事例集の収集と公開、担当スタッフによる勉強会の実施のほか、暮らしの課題解決支援イベント（R7年度3回、R8年度以降年2回以上実施）、や情報検索・リテラシー講座（R8年度実施、以降年1回以上実施）といったレフレンスサービス向上につながる取り組みを行っているか。	3	・昨年作成したレフレンスファイルは9月末時点に20件、いつもスタッフ全員が見られるようにしており、事例を常に共有している。 ・暮らしの課題解決としては、5月25日（日）に「エンディングノートの書き方講座」（大人27人、定員40人）、9月21日（日）「快眠セミナー」（大人33人、定員40人）を実施。はじめて来館された方もあり、図書館の利便性をアピールしている。	3	スタッフの研修、レフレンス事例の蓄積が行われていることを確認し、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後もより効果的な取り組みとして実現されること期待する。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・レフレンスサービス推進のための自治体や各団体とのコミュニケーションパートナーシップの構築や、スタッフの開催団体に関する知識とレフレンスインスピューラーのスキル向上、ガイドラインの整備、情報提供の充実、ニーズ分析・サービス評価を行い、サービスの充実につなげているか。	3	・センターでの「くじ字講座」実施のため健闘資料館学芸員の方と打ち合わせなど実施。 ・また図書館で事業実施績のある淀川河川事務所や、商工会議所など関係団体との関係構築に努める。 ・さまざまナレフレンスに対応できるよう、スタッフ向けのガイドラインを策定。時時紹介の更新・充実やスキルアップを目指す。	3	レフレンスの推進や関係団体との関係構築などに努めていることを確認し、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後もより効果的な取り組みとして実現されること期待する。サービスの基礎を整備する観点から、実際の取組みのレポート、ガイドラインの編成、ニーズの分析が実施された。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
(工) 事業提案（生涯学習交流センター）					
生涯学習交流センターの認知度の向上・利用者の数の増加につながるような魅力的な自主事業が具体的に提案されている（確認事項2.2）					
・鑑賞事業の実施（令和7年度以降年6回以上実施）。	3	鑑賞事業として、大集会室を使った主催事業を今年度中に6回実施予定。 大集会室を使った「音楽コンサート」5回、「パワーフリー映画の上映鑑賞会」1回、それぞれ実施予定。 「気軽にキレイアート」4月14日(土)実施（参加者64人、定員70人） ボコボコユニコーンがジャズまで、シャンソンを歌わざ幅広い年代が楽しめるコンサートを実施。 これまでの音楽系コンサートの中では、若年層がより多く参加し、「新規利用者の開拓」という目的を達成することができた。 今後は、昨年も人気のピアノホールのデュオコンサートや、子ども連れでも気軽な参加できるクラシック中心のコンサート、楽器を触れるワークショップ付の音楽イベント等の実施を予定している。	3	計画通りの事業本数を実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。開催頻度に偏りが見られたため、年間計画策定の段階で調整いただきたい。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・初心者向け講座・ワークショップの実施（令和7年度以降年6回以上実施）。	4	初心者向け講座・ワークショップとして今年度は計9回を実施予定。 「珈琲好きな方、集まれ！」6月25日(金)実施（参加者 43人、定員50人） 「ロードバイクを知ろう！」6月25日(木)実施（参加者 9人、定員50人） 「夏休み子どもワークショップ」自分で作ってみよう！7月26日(土)実施（参加者 11組、全2回、定員20組） 「盆栽DIYオブジェを作ろう！」手のひら盆栽マグネット7月27日(日)実施（参加者 28人、全2回、定員 40人） 「子どもだけなワークショップ」8月22日(金)実施（参加者 16人、全2回、定員 20人） 平日・夜間のイベントは主に大人（仕事中のビジネスパーソン）にむけて、新たな趣味や興味の発見につながる講座を、7月・8月の夏休み期間は、主に子ども向けて「初めてセンターを利用する」「充分にそれだけの価値があるもの」、「子どもに向けてあっても、大人の興味・鑑賞にも耐えうるもの」、「親子で参加してもどちらも楽しめるもの」を心掛け、企画を設定。どのイベントも「子どもはもちろん、親も夢中になった」「この金額でこんなレベルの高いものが作れるなんて(体験できるなんて)満足できた」等、どちらのイベントも好評の声をいたいたい。	4	計画以上の回数を実施しており、また、内容について幅広い対象を対象とした「初心者向け講座」が開催されていることから、参加人数は振るわなかったが、從来の生涯学習市民センターではなくては「ロードバイクを知ろう！」といった、室内でワードアを疑似体験できるものと工夫が見られた。以上より、計画以上の評価ができるものと判断する。改善点がなければ改善いたしまじき、引き続き広い範囲に働きかける事業展開に期待する。	ヒアリング 取組事例 モニタリング資料（自家主事業）

	<p>・児童・生徒を対象としたサービスとして「令和3年度で毎回1年回(回以上実施)」「令和8年度で毎年1回(回以上実施)」「小学生向け図書館ツアーア」(令和7年度以降に年4回以上実施)、「小学生向けクイズラリーで図書館探検」(令和7年度以降に年2回以上実施)、「SDGsあるある探検」(令和7年度実施、令和8年度以降に年1回以上実施)、「中高生サポートを募集・活動」(令和7年度実施、令和8年度以降に年1回以上実施)、「中高生向けコーナーの設置」、「中高生ビリオバトル」(令和7年度実施、令和9年度実施)を行っている。</p>	4	<p>・「帽子でキャバレー!絵本の世界を描こう!」 4月13日(日)実施 (参加者 全2回大人31人、子ども35人 定員各15人)。キットパスという画材を使用し、スギマカナゴ「みーせーて」の絵本に倣い絵本の世界を描くワークショップ。講師は他のセイタでも講師経験のある市民。「キットパスの魅力にはまりそう」というお声もあったように、市民に新しい体験を提供することができた。 ・「じぶんとのりの原画展」 4月10日(土)から、香里ヶ丘図書館、市内書店との巡回展を実施。絵本原画15点を交流センターギャラリースペースにて展示。児童だけでなく大人にも足を止めてご覧いただけた。 ・「小学生向けクイズラリーで図書館探検」 ・「図書館クリエイター」というタイトルで4月27日(日)実施 (参加者 子ども33人 定員50人)。図書館内をじっくり回っていただくことで、ブックタブリーや自動貸出機も体験したことできた。 ・「子どものための図書館活用講習」 5月6日(火)実施 (参加者 大人2人、子ども2人 定員10人)。本を借りる場所というだけでなく、子どもたち自身で調べる力を身に着けられるようにすることを目的とした。 ・「夏休み・自由研究サポートコーナー設置」 「きらめきの世界」吉田けの万華鏡をつくろう!というタイトル6月29日(日)に講座を実施 (参加者 子ども7人 定員10人)。そのほか自由研究コーナーとして関連書籍やパワフルな設置を行った。 ・「図書館シールリーチャレンジ」 4月23日・5月12日実施 (台紙配布数: 218枚、景品配布128)。春の読書週間に合わせて開催。読書活動を通じて本や図書館への興味を引き出し、図書館へ来館頻度と貸出冊数の増加、おはなし会参加の促進を目的とした。 ・「たさんさん読んでチマシーン!まわそう!」 4月23日(水)～5月12日(月)実施。イベント開催期間中に本を15冊借りると1回がチャを回せるので、景品はオリジナルバッジ。 ・「図書館長になつてみよう!令和7年度年次実施予定」 ・「プログラミング講座」(大阪工業大学連携) 「初心者向けプログラミング講座として6月22日(日)実施 (参加者 全2回大人7人、子ども8人 定員各5人)。外部組織との連携準備のために単独で実施したもの。弊社が企画開発している教材ごとで実習で、小学生から参加できるような教室を開催した。 ・「帽子でアーティストタブリーアート」 8月2日(土)実施 (参加者 全2回大人7人、子ども9人 定員各10人)。スタンプ用のシートを使いオリジナルスタンプをつけて絵を描くワークショップ。「小学生が体験できるイベントは貴重!といいお声を保護者からいただいている。今後も様々な体験を提供できるよう企画を行いたい。 ・「小学生向けSDGsあるある探検」 ・「中高生向けコーナーの設置」、「中高生ビリオバトル」(令和7年度実施、令和8年度実施)を行っている。</p>	3	<p>計画に基づき事業を実施しており、参加者の感想は肯定的であり、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下半期に実施を予定している事業について子どもたち読書活動推進が図られるよう適切に実施されるとともに、効果検証にも努めたい。</p>	ビアリング
-団・学校連携による読書活動推進として、「見学受入れ、出張図書館サービス」、「図書委員応接講座」、「おめでと1年生、「新生一年生オリエンテーション」」(令和7年度実施、令和8年度以降に年1回以上実施)を行っているか。	3	<p>・5月22日(木)図書館見学受入 (津田小3年生児童9人・教諭1人)。学習指導要領を確認の上、公共図書館の意義や職員の役割、拡大読書器やコミュニケーションボードなどの障害者サービス、自動貸出機やBDSといった館内の設備、電子書籍等のサービスについて案内したのち質疑応答。</p>	3	<p>見学受け入れによる小学校との連携が行われており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。下半期に障害者サービス導入の実験を行いたい。</p>	ビアリング	
一般成人を対象とした図書館読書振興事業が提案されている。(確認事項2.7)						
・生涯学習課による読書活動推進として、「見学受入れ、出張図書館サービス」、「図書委員応接講座」、「おめでと1年生、「新生一年生オリエンテーション」」(令和7年度実施、令和8年度以降に年1回以上実施)を行っているか。	3	<p>・「図書館活用講座」5月23日(金)大人向けということで18時開始とした。参加者は大人1人にとどまり、今後広報・集客の課題が残る。 ・「木の調べる学習体験講座」(令和8年度実施、令和9年度以降に年1回以上実施) ・「秋方市民に読みて欲しいもの一冊」本棚 オープニングイベントにてかわった方々や近隣の施設（鳴屋書店、ビィゴー！、生花屋、珈琲店など）で働く方の推薦図書展示を継続している。今後SNSでの発信を実施する。</p>	3	<p>多様な特典・展示は魅力的な活動として評価できる取り組みであり、近隣施設等との関係も両立で終わらず継続して行われ本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。引き続きの事業展開と課題への対応を期待する。</p>	ビアリング	
・多様な人々が利用できる図書館として、「りんごの棚」の設置、「隠されながら子どもたちが図書館へ招待」(令和8年度実施、令和9年度以降に年1回以上実施)、「大人の調べる学習体験講座」(令和7年度以降に年1回以上実施)、「R.E.A.Dプログラム」の実施(令和7年度以降に年1回以上実施)、「やさしい日本語での図書館ツアー」(令和7年度実施、令和8年度以降に年1回以上実施)、「ボランティアの募集・講習会・交流会」を行っているか。	3	<p>・「りんごの棚」 令和7年度中の設置を予定。現在看板を行列入リスト申請中。 ・「隠されながら子どもたちが図書館へ招待」(令和8年度実施、令和9年度以降に年1回以上実施) ・「R.E.A.Dプログラム」 大阪市立図書館や高石市立図書館での実績のある「日本スキー協会」と協議を行い、7月度2日の開催を予定している。 ・「やさしい日本語での図書館ツアー」 6月8日(日)実施(大人1人)。参加者は1人のみであったが終了後には新規カード登録をしただけだ。次回以降は市内読み書き教室などをターゲットに広報を拡充したい。 ・「ボランティアの募集・講習会・交流会」 配架ボランティア説明会を9月31日(日)、9月2日(火)実施し、9月30日から実際に作業に入っている。 おはなし会ボランティア説明会を9月10日(水)、9月14日(日)に実施。9月23日にはおはなし会を実施したい。 現在23人の市民が在籍。いずれもボランティアも、ご本人の希望の日に活動いただけるよう調整し、市民の社会貢献活動を後押ししている。</p>	3	<p>図書館振興事業の一環として図書館に開心がある方が図書館で活躍できる機会を開拓し、20人以上ものボランティア活動を後援していることは、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後、申込があなたボランティアとの信頼関係を構築し、図書館ボランティアの内情を把握が進むよう努めたい。また、「りんごの棚」、「R.E.A.Dプログラム」の円滑な実施を期待する。</p>	ビアリング	
電子図書館の利用を増やす取組みが提案されている。(確認事項2.8)						
・「いつでもどこでも本を読める」取組の推進として、「ひらかた電子図書館合同体験会」(令和7年度以降に年1回以上実施)、「ソニー向け：デジタルコンテンツによる電子図書館講座」(毎月1回実施)、「学校向け：電子図書館講座」(月曜応じて随時)、ひらかた電子図書館に「独自資料の登録・公開」を行っているか。	3	<p>・「ひらかた電子図書館合同体験会」他の分館で体験会を実施する際に、お互いに次の体験会の案内を行なうなどの連携を実施している。 ・「ソニー向け：デジタルコンテンツによる電子図書館講座」 4月21日、5月10日、6月28日、7月12日、8月9日、9月13日実施。6月からはカウンターに席を立て、いつもでも尋ねられるような環境にした。参加者数を伸ばすため、10人からは申込を採用。また、さかのんに知り合った方による工夫を続けたい。 ・「学校向け電子図書館講座提出講座」 要望に応じて随時実施するもの。現在申込がないため学校にアピールしていく。 ・「独自資料の登録・公開」 前回のミーティング時に、独自資料の容量上限について教示いただいた。協議を継続する。</p>	3	<p>電子図書館の認知度を上げる取り組みとして体験講座を毎月実施するなど本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後、データベースの利用状況や利用者の評価を聞き取り組みを検討していく。</p>	ビアリング	
立地条件を踏まえた利用者分析に基づき事業が提案されている。(確認事項2.9)						
・オンラインデータベース等を活用した利用分析に係る分析(枚方市駅周辺とビジネスパークが門司町で毎年交換アリ)に基づき、働く人の仕事と暮らしを支援するための時短読書「fler」の導入を行っているか。	3	<p>・市場情報評価ナビ「MieNa」を活用し分析した結果を踏まえ、ビジネスパークに向かって、ビジネス・教養書の要約が読めるデータベース「fler」を導入済み。利用拡大に向けて施策を検討中。</p>	3	<p>ビジネスパーク向けのオンラインデータベース「fler」を導入しており本市要求事項を満たし、事業計画どおりに実施していると判断できる。今後は、データベースの利用状況や利用者の評価を聞き取り組みを検討していく。</p>	ビアリング	
・働く人の「学び」と「暮らし」共働き夫婦の「暮らし」に役立つ本の「学び暮らしの応援展示」を実施しているか。	3	<p>・「暮らし」「学び」等をテーマにした特集展示は令和7年度に実施予定。</p>	3	<p>実施予定は確認済み。下半期に適切に実施されることを期待する。</p>	ビアリング	
・仕事帰りの立ち寄りスペースとして紹介本がなくとも傍聴者として参加できる「寄り道者から読書会」を実施しているか。	3	<p>・定期読書会とは別に、「大人のための絵本読書会」8月22日(金)実施(参加者 大人3人 定員6人)。仕事終わりでも参加しやすいよう19時からのスタートにしたが、キャンセルも発生した。参加された方の満足度は高かったため内容を変えながら次の実施に向けて準備を行っている。</p>	3	<p>定期読書会とは別の「大人のための絵本読書会」の実施を確認した。仕事終わりでも参加しやすい気鋭に参加できる読書会の継続した取り組みを期待する。</p>	ビアリング	
(カ) 連携事業提案(生涯学習交流センター)						
生涯学習交流センターと図書館との連携事業の実施について、具体的に提案されている(確認事項30)						
・図書館専門企業ならではのパワハラコントラクタ、業界内外つながりのあるトータルショッピング型図書館併設ボックス、ボードゲーム交流会等の生涯学習事業を事業計画に記載する回数で実施しているか。	3	<p>・生涯学習交流センターと図書館との連携事業は、今年度は4回予定。 ・「図書館併設ボックス」は昨年度より継続して実施しており、定期的にセンターからの「入選者」が出るなど、参加者のレベルも高く、毎月初に貼り出される「結果」には多くの利便者が目を止めている。 ・「おはんじようびをねいじゅうじもん」は昨年度より継続して実施しており、毎週ある図書館主催の「赤ちゃん向けおはなし会」と合わせて実施することで、「このイベントの時には、今月のおはんじようびの子どもがみんなで読む!」と題して開催例化しており、同じ月生まれの子どもや誕生日の子どもの保護者同士がそれを話題に盛り上がるなど、交流している姿も見られる。 ・「京都市立図書館・枚方市まわる風景」は、市内のさだ図書館からの巡回展示の形で実施。 京阪電車で中心部を走る15枚の一枚は、枚方市内を走る京阪電車といっしょで人々の交流が生まれ起きるきっかけにもなり、展示スペースの活用例としても注目度が上がり、センターの活動田舎かる「あら展示スペース」を使うにはどうすれば良いかとの問い合わせが相次ぎた。</p>	3	<p>計画通りの事業本数を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。 ・「お誕生日おはなじゅうじもん」により赤ちゃんの増加につながり良い連携がとれている。</p>	ビアリング	
枚方市駅直結の立地を生かし、ビル内のテナントなど周辺施設との連携を意識した賑わいづくりや市民等の交流の機会の創出を目的とした事業について、具体的に提案されている(確認事項31)						

松井市原・白須の立地を主に、ビル群のアーケードなど同施設等との連携を意識した取り組みが市民等の交流の機会の創出を目指した事業について、具体的に提案されている（確認申請第31号）。

	・総合文化芸術センターや市立枚方宿題屋資料館、各生涯学習市民センターといった周辺施設や、各テナントなど連携いただくなどの学びアティビティ後押しする連携事業を事業計画に記載する回数で実施しているか。	3	今年度は「地域連携としての事業を2回実施予定。6月14日(土)に行われた総合文化芸術センターのH-Artsフェスティでのスタンブラーの「館外チェックポイント」として場所を提供し、市内の人流創出、特に枚方市駅周辺において、劇場にて「学びアティビティ」の場づくりにおいて貢献した。さらに同日には生徒イベントとして「ビーアー」を同時に開催。総文のスタンブラーを目当てに来場した方々を、さらにセンターを利用へ呼び込むため工夫して、お互いの人流が行き来できるように相乗効果を狙って実施した。 11月には市立枚方宿題屋資料館より講師をお招き、「くじ字講座」を開催予定。 過去市内図書館では平日の夜間に開催していくべく、交流センターのターゲット層に合わせ、「土曜日夜祭」の日時で開催予定。普段、平日中にはイベントに参加できていない層を狙い、さらなる学びの機会を提供する。 図書館では9月に枚方モールのブランド「Sleep Smile」より講師を招き、「快眠セミナー」を開催。人々の間の深い「睡眠」テーマの講演は、大変好評であった。	3	計画通りの事業本数を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。 引き続き連携を継続していただきたい。	ヒアリング モニタリング資料（自主事業）
ヰ) 連携事業提案（図書館）						
ご家庭センターとの連携事業が提案されている。（確認事項3.2）						
	・まるっこどもセンターとの連携事業として、「まるっこどもセンターの広報活動の支援」、「まるっこどもセンターでの講座や交流会などのイベントの出張展示、展示のパワーポイントの作成、SNSでの発信」、「まるっこどもセンターの健診結果図書館スタッフによる出張図書館の実施（週1回以上2時間程度）」「保護者向け電子図書館体験会」を行っているか。	3	・週1回図書館スタッフをまとつどもセンターに派遣（2歳6ヶ月健診）、約2時間にわたり絵本や電子書籍の紹介、図書館への誘導を行っている。 また、ブックダイアリーを配布していただいているため、通帳を持って図書館に新規登録に来てくれる親子もいらっしゃる。 図書館に設置されているサイナジーにて、まるっこどもセンター主催事業の情報を投影、広報活動でも支援を実施している。	3	まるっこどもセンターとの連携は本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。 来所時に飽きない工夫されるなど、引き続�新規利用者の増加につながることも認め、充実した取り組みが期待する。 また、まるっこどもセンターでの講座等とコラボした出張展示や展示本パワーポイント作成・配布といった連携にも取り組まれるよう期待する。	ヒアリング モニタリング資料（自主事業）
ビル内のテナントなど周辺施設との連携を意識した事業が提案されている。（確認事項3.3）						
	・人々の暮らしに「本との出会いの場」を作る取り組みとして、「枚方市総合文化芸術センター連携事業」、「枚方モール連携事業」、「枚方市内図書館連携事業」、施設・テナント連携による読書活動啓発ステータの作成、「アーティスト連携事業」、トラベルライブリーの設置、「テナント連携（菓子店）」、「テナント連携（飲食店）」、「テナント連携（書店）」（令和7年度以降年1回以上実施）を行っているか。	4	・総合文化芸術センターのセンター祭り「H-Arts」参加 6月14日(土)総合文化芸術センターにて絵本の広場、おはなし会を実施（参加者 全2回計64人）。また、読み聞かせイベントのポイントを総合文化芸術センター・図書館において、周辺施設の利用を促した。お互いに普段でできない嬉しいアフローダーができるという点で意義のあるイベントとなった。 ・周辺施設（ビオルネ・鳥屋商店など）のスタッフによる読み聞かせ演示を継続している ・枚方モール（ビオルネ・鳥屋商店など）のスタッフによる販賣展示を継続している 9月23日(火)実施（参加者 大人33人、定員40人）。18%の方が初めての来館で、カードを作った方もあり、イベント実施することで新規来館者を得るところにつながった。 ・「ひらかたブックストリート」（主催：ひらかたの文学の会）参加 市駅前図書館に複数の地元書店が絵本を販売し、人々との出会いを通じて「本との新たな接点」を創造する取り組みである社会教育とまつわる会場（むすめの）を実現した地域連携事業。 2025年6月7日(土)実施（参加者 大人32人 定員30人） 10:00～11:00 図書館に集合・自己紹介・参加施設紹介 11:00～15:00 自由時間、市内の書店でマップ手帳を選むもあるおき 15:00～16:00 図書館に戻ったときグループワークを実施、購入本の紹介や感想を共有 印象にいたた参加者の声として枚方市は、市内の本がある場所があるからこその感想があつたというものが多かった。公共交通、大型店と個人書店が共存する地域ならではの読書文化のあつた（豊かな）が、参加者の感想から改めて認識した。 新規来客登録などを通じ、図書館のアート貸出増加に寄与する一面があるとは思うが、それよりも、図書館と地元書店の連携、さらにまちあるき組み合わせた取り組みは、図書館という枠を越え、地域全体での読書振興が進むたという意味で好事例となつた。 ・「ひらかたブックザーバー」参加 6月28日(土)実施、上記イベントの第二弾。ニコニコに書店出版社、ブックカフェなど、本をキーワードに約60の出店者が一堂に会するイベント。図書館は絵本を並べ、図書館・電子図書館・スマート登録の紹介を行なうが、市内の書店様に順番におはなし会を実施した。後日別のイベントに参加したところ、図書館の人として市民から声をかけていたことがあり、外部のイベントに参加することの意義を感じたことだった。	4	周辺施設等との連携は、市駅前図書館の特徴的な取り組みとして目ざされるもので、様々な事業の実施は図書館の新規利用登録や図書館の認知度向上につながっており、本市要求事項を満足以上の効果があったと評価できる。今後も積極的に施設の利用促進の可能性を追求されることを期待する。	ヒアリング
ワ) 利用者対応提案						
利用者に対する接遇対応向上について提案されている。（確認事項3.4）						
	・誰もが快適で居心地の良い場所となるよう、スタッフ行動目標をふまえた利用者対応を実施しているか。	3	カウンターでのあいさつに加え、フロア巡回などにも館内の安全確保に努めている。 1時間毎に1回程度の定期的な巡回以外でも積極的な声かけを行ない、TRCのスタッフの行動目標である「明るく元気でいよう」「高いホスピタリティを発揮しよう」「幅広い知識と高度な専門性を身に着けよう」を發揮して、館内がらくに快適で居心地の良い場所になるようにスタッフ全体で努めている。	3	スタッフ行動目標をふまえた利用者対応を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・施設の立地条件を踏まえたビル内の案内や周辺案内、観察案内なども含む問い合わせへの窓口対応を行っているか。	3	ビル内の案内や周辺案内については、問い合わせに真剣に丁寧に対応できるようしている。 開館時間に遅延する際に施設の営業時間によって変わる案内への動線を3パターンにして「動線案内のチラシ」を作成して配布した。現在も利用者の求めに応じてカウンターに設置・配布している。 また、同内容の表示物は各入口の入館者ゲートにも掲示している。 その他、「枚方市駅周辺情報」ファイルをカウンターに設置し、枚方モール内外のテナントや府税務署所等、周辺施設への道案内を含む利用者からの問い合わせ対応には、できる限り速いかかる親切な対応ができるよう常に準備している。 そのほか、今年8月にあつた枚方モールの臨時休館では、館内やYPH・SNSにて事前にモール内通路が通りれない際の施設への導線（経路案内図）を写真付きでわかりやすく掲示し、利用者の事前の案内や説明に努めた。このように事前の告知から枚方モールの臨時休館（当日）にかけて丁寧な対応をしたことで、利用者から「おかげで当日に慌てず安心して利用ができた」という感謝の言葉をいただいた。	3	施設の立地条件を踏まえたビル内の案内や周辺案内を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
	・接遇サービスに関する研修を実施しているか。	3	令和7年度中の実施予定。	3	サービスに関する研修を実施予定であるため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法や利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている。（確認事項3.5）						
	・危機管理マニュアル」の整備や館内の定期巡回を実施しているか。	3	TRCの危機管理マニュアルを準備し、全スタッフに共有している。 館内では1時間に1回程度の定期的な巡回を行い、館内の秩序維持・安定に努めている。	3	「危機管理マニュアル」の整備や館内の定期巡回を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現地確認
	・投書箱や利用者アンケート等の実施による利用者の声の聴取、過去のケーススタディを活かしたクレーム応対のスキルアップ、館内状況への常時のお気配りなど、苦情や利用者トラブルを未然に防ぐ仕組みづくりを行っているか。	3	館内に投書箱を設置し、利用者からご意見があれば対応できるようしている。 今年度の利用者アンケート（1回目）は10月中に実施予定。	3	苦情や利用者トラブルを防ぐ仕組みづくりが行われているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
	利用者トラブル発生時の対応策を整備し、枚方市との情報共有を徹底しているか。	3	利用者からカウンターなどスタッフに要望やお問い合わせがあった際には、丁寧にヒアリングし、その後上長に報告。 即時対応できるものは、速やかに対応して、協議が必要なものは館内や所管課と共に上の、その変更点や内容についてはセンター・図書館の業務連絡で漏れのないように周知を行い、全スタッフに共有している。	3	トラブル発生時の対応策を整備しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
利用者サービス向上の観点からセラフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートの実施について提案されている。（確認事項3.6）						
	・仕様書、業務要求水準事項、事業計画書の履行状況に関するカッキスにに基づき、各業務責任者を中心とした定期的評価会議を実施しているか。	3	仕様書、業務要求水準事項、事業計画書の履行状況に関するカッキスに基づき、各業務責任者を中心とした定期的評価会議を実施している。	3	セラフモニタリングの実施を確認しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・年2回の利用者アンケート調査および非利用者のニーズを探るためにWEBアンケートの実施、また、各施設年1回の利用者懇談会の実施しているか。	3	利用者アンケートは2025年10月10日(金)～26日(日)の期間に紙とWEBで実施予定。 センターの利用者懇談会は年末1月に随時に実施予定。	3	利用者アンケート、利用者懇談会の実施を進めていたため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。 予定通り実施してください。	ヒアリング
	・ご意見箱・子どもおとよリコーナーを設置しているか。	3	ご意見箱は設置済。 「子どもおとよリコーナー」は個別に別の箱を設けていないが、「ご意見箱」へ子どもと思われる利用者からの意見や感想が入ることはある。「〇〇の本が欲しい」「本を貸してくれてありがとう等」 カウンター等で頂いたご意見については、即時対応できるものは対応し、適宜その内容を所管課とも共有している。 即時対応した例として、移動式充電器「複数枚充電したい」と回答した際には、充電器として追加購入し、人気の少ないダンスや体操系の団体でも「部屋の規模を問わず活動がやすくなつた」と喜んでいた。	3	ご意見箱（子どもおとよリコーナー含む）を設置しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
	・利用者の声を共有し、対応可能なものは迅速にサービスに反映しているか。	3	利用者からカウンターなどでスタッフに要望やお問い合わせがあった際には、丁寧にヒアリングし、その後上長に報告。 即時対応できるものは、速やかに対応して、協議が必要なものは館内や所管課と共に上の、その変更点や内容についてはセンター・図書館の業務連絡で漏れのないように周知を行い、全スタッフに共有している。	3	利用者の声を共有し、対応可能なものは迅速にサービスに反映しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
業務に従事する者が、人権について正しい知識を持つ業務を遂行できるよう、人権研修について提案されている。（確認事項3.7）						
	・人権についての知識と理解を深める研修を実施しているか。	3	昨年度は8月に障害者サービス研修・接遇研修を実施し、人権についての知識と理解を深めた。 今年度も引き続き全員での集合研修を行う予定。正しいサービスや接遇が行えるよう知識や見識をアップデートしていく。	3	人権についての知識と理解を深める研修を実施しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）
【施設の管理に関する事項】						
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている。（確認事項3.8）						
	・関係法令等の遵守および設置目的に沿った管理計画を実行しているか。	3	図書館法や生涯学習市民センター条例に基づきにより監視し、施設の設置目的に沿った管理計画を実施している。 そのうえ、適切な保守管理に努め、利用者の安全確保を第一として「事故を出さない施設づくり」、「利用者満足度向上に向けた施設環境及び美観向上に向けた改善」を計画的に実施していくような運営を実施する。	3	関係法令等の遵守および設置目的に沿った管理計画を実行しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
基本仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている。（確認事項3.9）						

・総括、副総括責任者を筆頭に、各施設、リーダー・サブリーダー等は仕様書に定める業務実施体制を確実にしているか。	3	総括、副総括責任者及び各施設リーダー・サブリーダーは仕様書の条件を満たし、業務実施体制を確保している。	3	総括、副総括責任者及び各施設リーダー・サブリーダーは仕様書の条件を満たし、業務実施体制を確実にしているか。本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・図書館スタッフの70%以上が司書・司書補・司書教諭資格を有する体制をとっているか。	3	令和7年9月30日現在、司書率は83.3%。	3	図書館スタッフの70%以上が司書・司書補・司書教諭資格を有する体制をとっているか。本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・「地域連携・広報サブリーダー」として、「地域連携担当者」と「広報担当者」を配置しているか。	3	「地域連携担当者」1人と「広報担当者」2人を配置している。	3	「地域連携・広報サブリーダー」として、「地域連携担当者」と「広報担当者」を配置しているか。本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
日常的・定期的に施設を巡回・点検など、利用者が安全かつ快適に過ごせる環境の整備について提案されている（確認事項40）					
・接客の勧行や危険情報の把握など、施設での犯罪行為等の防止や抑止力向上に向けた取組みを行っているか。	3	カウンターでのあいさつ勧行に加え、プロア巡回時などにも館内の安全確保に努めるように、定期的な巡回（1時間に1回程度）や積極的な声かけを行なって、館内の秩序保持に努めている。 転倒可能性のあったカウンターパーテーションの移設やおはなしスペース内にあった丸テーブルを外側へ移動した。他にも、乳幼児がいたずらをする可能性がある一部の柱や壁にある埋め込み型のコセットを封鎖など、安全性向上に努めた。	3	接客の勧行に加え、施設内での犯罪行為等の防止や抑止力向上に向けた取組みとして定期巡回や、けがの原因にからうる物品の移動などを実行していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
備品管理に当たり、管理簿の整備および責任所在について提案されている。（確認事項4 1）					
・「無償使用可能備品等一覧表」をもとに施設備品等の状態や数値を確認した上備品管理簿に記載し、備品の修繕・更新を実施。また、年1回棚卸を行い、備品管理簿を更新しているか。	3	備品棚卸を月に1回程度実施し、状況の把握に努めている。	3	施設備品等の状態や数値を確認するため、備品棚卸を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
環境に配慮した管理運用を自指し、ごみの削減、節電、節水、省エネルギー等具体的に提案されている（確認事項42）					
・循環型社会の基本的な考え方である5Rの取り組みを行っているか。	3	紙資源等のリサイクル推進によるごみの減量以外にも、エコマーク商品、グリーン購入法適合商品、グリーン購入ネットワーク（GPN）が運営する「工商品ねっと（GPNデータベース）」に掲載されている商品、メーカーがグリーン購入適合と定めた商品を購入することで、5Rの推進を進めている。	3	5Rの取組みを実践しているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・除籍図書や雑誌、不要な紙類を引き取り、リサイクル・再製品化するラック・ドロップを推進しているか。	3	除籍図書や新聞、受入しない寄贈本等は、中央図書館に送付し古紙回収に回している。	3	除籍図書や雑誌等は中央図書館の古紙回収に入れており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	現物確認
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている（確認事項4 3）					
・必要に応じた消沫防止や消毒液の設置など臨機応変な感染症対策を実施しているか。	3	消毒用アルコールはカウンターに常時設置。図書館には図書除菌機を設置し、利用者の健康意識の向上に努めている。	3	カウンターへの消毒液の設置等、感染防止対策を実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） 現地確認
【情報公開および個人情報保護の措置に関する事項】					
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている。（確認事項4 4）					
・開示請求に対応する真摯な姿勢と自治体との協調、個人情報や第三者情報への十分な配慮を行っているか。	3	所管課と協力して個人情報や第三者情報に配慮しながら、適切な対応をしようとしている。	3	個人情報や第三者情報に配慮しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・利用者アンケートの集計結果やご意見、その対応策などの館内掲示板、公式ホームページ、Instagram等への掲載による市民に対する積極的な情報開示を行っているか。	3	イベント毎や、休館日及び混雑状況の可視化など、市民及び利用者に対し、積極的かつ施設利用につながる効果的な情報公開を行っている。	3	Instagram等を利用し積極的に情報発信を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング Instagram
個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている。（確認事項4 5）					
・個人情報保護に係るマニュアルや規定、チェックリストを整備しているか。	3	個人情報保護チェックリストを作成し、その手順を全スタッフで確認している。このチェックリストは作業マニュアル（手順書）も兼ねている。	3	個人情報保護チェックリスト作業マニュアル（手順書）を実行していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・個人情報保護に関する研修を実施しているか。	3	年に1回（今年度は令和7年11月～12月に実施予定）、個人情報保護研修を実施し、全スタッフが参加。就業時の個人情報について意識を高め、再確認する場所としている。	3	個人情報保護に関する研修を下期に予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（研修計画表）
・個人情報保護に関する就業規則を遵守しているか。	3	個人情報保護に関する誓約書を入社時及び枚方市内施設への配属時にそれぞれ提出している。	3	個人情報保護に関する就業規則を遵守していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・年1回の社内監査チームによる定期監査を実施しているか。	3	今年度は令和7年11月17日(月)に実施予定。	3	社内監査チームによる定期監査を下期に予定していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング
・バインダーの使用や申請書類別の仕分けなど個人情報保護対策の取組みを行っているか。	3	個人情報書類はバインダーで挟み失を防止。カウンター内でも種類別にファイル化し、作業途中でスタッフに入れ替わってなくすことがないように工夫している。	3	個人情報の紛失を防止するための対策を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
【緊急時における対策に関する事項】					
緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている。（確認事項4 6）					
・「危機管理マニュアル」を策定しているか。	3	TRCの危機管理マニュアルを作成している。	3	「危機管理マニュアル」を策定していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現地確認
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている。（確認事項4 7）					
・大規模災害時の職員の参集配備体制表を作成しているか。	3	1号配備時には所長・館長のみ。参集配備体制表を作成している。	3	大規模災害時の職員の参集配備体制表を作成していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・緊急時の指揮系統と連絡系統を設定しているか。	3	危機管理の連絡フローを会社として作成。また、自衛消防組織団を個別に作成し、有事に備えて誰もが「自分ごと」として行動できる体制を作っている。	3	緊急時の連絡体制、自衛消防組織団の作成など、体制整備を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・総合消防訓練や避難訓練、消火訓練、危機管理研修、救急救命講習、防犯講習を各年度1回実施しているか。	3	7月に「救命講習」、8月にビル全体の「総合消防訓練」を実施。「総合消防訓練」では研修用DVDの視聴を通じて、「いざ」というときの構えや「消火方法」「危機管理」に関する事象を全員で学び、有事に備えることとした。「避難訓練」は令和8年2月頃に実施予定。	3	総合消防訓練等、各種訓練を計画的に実施していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）
構成員（本支社含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている。（確認事項4 8）					
・市と指定管理者との間におけるリスク分担表を理解し、誠実に対応しているか。	3	有事やトラブル発生時には、リスク分担表に基づき、市と協議の上誠実に対応する。	3	リスク分担表に基づき、協議の上、対応していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
・施設賠償保険に加入しているか。加入している保険の名称を明示できるか。	3	施設賠償保険に加入している。	3	損害賠償保険の加入を確認できていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング
【その他】					
高齢者・障害者サービスを維持・向上させる取組みについて提案されている。（確認事項4 9）					
・認知症サポーターを配置しているか。	3	令和7年10月以降に「認知症サポーター養成講座」を実施予定。	3	下期に認知症サポーター養成講座を予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング
・拡大鏡・老眼鏡などの備品設置やコミュニケーションの工夫のほか、高齢者居場所づくりイベント、高齢者向けスマートフォン・電子図書館操作講座、認知症への理解促進事業の実施など高齢者の生涯学習と読書活動の支援を行っているか。	3	・老眼鏡・拡大鏡それぞれのカウンターに設置しているほか、カウンターには杖ホルダーを設置するなど、利用者の利便性向上に努めている。 ・高齢者居場所づくりイベントとして、6月26日(木)季節の折り紙交流会を実施（大人7人）。スタッフがサポートに入りつつ、参加者同士で楽しんでいたるような事業とした。	3	拡大鏡・老眼鏡の設置や高齢者居場所づくりイベントの開催等、高齢者支援を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・障害者サービス研修を実施しているか。	3	・令和7年11月に実施される度大阪公共図書館協会「障がい者サービス実務研修」に参加予定。内容をスタッフ全体に共有する予定。	3	下期に障害者サービス実務研修を予定されており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例） モニタリング資料（研修計画表）

・コミュニケーションボードや筆談ボードといったコミュニケーションツールの設置ややさしい利用案内の配布しているか。	3	コミュニケーションボードはセンター・図書館共用で、筆談ボードはそれぞれのカウンターに設置。利用者からの求めに応じ、適宜使用できるように準備している。	3	コミュニケーションボードや筆談ボードを設置していることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・パリアフリー読書支援を周知しているか。	3	・令和7年度中の設置を予定「りんごの棚」にて、パリアフリー読書支援や利用方法などをあわせて知ってもらえるような棚にする予定。	3	下期にパリアフリー読書支援として棚の設置を予定しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。予定どおり実施されたい。	ヒアリング モニタリング資料（自主事業）
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている。（確認事項 5 ①）					
・シンボルマークやロゴマークを活用した各広報ツールの制作などのブランディング戦略を行っているか。	3	施設の建築コンセプトを理解し、特徴的な意匠である施設中央の「シンボルツリー」「ボタニカルウォール」をデザイン化してシンボルマークを作成。作成にあたっては、市のデザイン会社・デザイナー・イラストレーター等に協力を依頼。印象的なシンボルマークとして各広報ツール（印刷物、SNS、HP等）に積極的に使用し、施設全体のブランディング戦略として有効に活用している。	3	シンボルマークを作成し、各広報ツールに積極的に使用しブランディング戦略を行っていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング モニタリング資料（取組事例）
・広報担当者を設置するとともに、Youtubeチャンネルの開設やユーチューバーの制作など若年層から高齢者まで情報を届けるよう日々的広報活動や多角的な広報活動を行っているか。	3	広報担当者を設置し、「YouTube」「SNS(Instagram)」「ホームページ」を開設し、施設の認知度アップ及びイベントの告知・参加者募集・施設のブランディングやイメージ向上に向けて積極的な投稿を行い、フォローを着実に増やしている。ユーチューバー（広報誌）「knot(s)」では、これまでイベント講師を務めていた市内の珈琲店の店主やイベント講師の紹介や、サークル活動の告知・紹介などを行なうだけにとどまらず、「教えてパリアンコナー」では、特に若年層に向けてInstagramからも質問事項を募集するなど、「本を使った双方向コミュニケーションを行なう」としてさらなる施設の価値向上・多角的な方面からの利用者の「かかわり度」を増やす工夫を行ない、さらなる施設利用者とファン獲得のための広報活動を行っている。	3	広報担当者を設置し、YouTubeチャンネル・SNSなどの発信に力を注ぐとともに、毎月、広報誌による広報活動も合わせて行なっていることから、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。	ヒアリング 現物確認（広報誌） モニタリング資料（取組事例）

指定管理者による一次評価 平均点	3.1	所管部署による二次評価 平均点	3.0
---------------------	-----	-----------------	-----

評価項目1(1)の評価基準	
S 事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上
A 適正（適切）である	二次評価の平均点が3点以上4点未満
B 事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上3点未満
C 事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満 または「1」の評価があり、かつ、その理由が重大な内容である場合

評価項目1 業務の履行状況（1）選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署） A

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○ 適正（適切）である	○ 適正（適切）である
△ 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）	△ 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）
✗ 不適正（不適切）である	✗ 不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	評価の根拠（資料名等）
	評価	評価理由		
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に乖離している場合、その理由は何か、また、その理由は妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	大幅に乖離していない。	○	大幅に乖離していないことを確認。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費用がない。／想定外に多く支出している費用がある場合、その理由は何か、また、その理由は妥当で、今後、予定外の支出が生じるおそれはないか。	○	想定外に多く支出している項目はない。	○	想定外に多く支出している項目がないことを確認。
・運用資金の借り入れを行っていない。／借り入れを行つている場合、その理由は妥当か。	○	運用資金の借り入れは行っていない。	○	運用資金の借り入れを行っていないことを確認。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	現金管理は適正に行われている。	○	現金管理は適正に行われていると確認。

評価項目1(2)の評価基準	
S 全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A 全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○
B 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上
C 不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	✗が1個以上

評価項目1 業務の履行状況（2）施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署） A

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○ 適正（適切）に実施している。	○ 適正（適切）に実施している。
△ 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施して	△ 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施して
✗ 実施していない、又は不適切な点がある	✗ 実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	評価の根拠（資料名等）
	評価	評価理由		
・募集要項2ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行っている。	○	再委託に関する事項を順守し、運営している。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	別の口座で管理している。	○	別の口座で管理していることを確認した。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関する必要な措置を講じているか。	○	必要な措置を講じている。	○	必要な措置を講じていることを確認した。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	労働基準法を順守している。	○	関係法令等を遵守していることを確認した。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	記録は適切に行っている。	○	日報等で記録しているが、職務の執行に対する意見、要望等の記録等に該当するものはないか。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に開示し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保管しているか。	○	文書は適切に管理している。	○	管理規定等を定め、適正に管理・保管していることを確認した。
・募集要項12ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	「環境への配慮」が適切に行われている	○	光熱水費の削減目標の設定、グリーン商品の購入を実行しており、環境への配慮が適切に行われていることを確認した。
・適切な保険に加入しているか。	○	適切な保険に加入している。	○	適切な保険に加入していることを確認した。
・指定管理者名と設置者として市の連絡先を施設内に表示するなどに、利用料金表等に明記しているか。	○	明記している。	○	各表示は館内に表示していることを確認した。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組まれ）ており、募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	障害者法定雇用率はクリアしている。	○	適切に取り組まれていることを確認した。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善を取り組んでいるか。	○	アンケート結果や利用者からの直接いただいた意見などを参考にし、利用者のニーズを解析し、備品の購入検討やサービス改善案を実施していく。	○	利用者アンケートを実施予定。 利用者のニーズを解析し、業務改善に取り組まれていることを確認した。

・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	<input type="radio"/>	報告書類は遅延なく適切に報告している。	<input type="radio"/>	事業報告書、日報・月報等を遅滞なく提出され、適切に報告されている。	ヒアリング各種報告書
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われおり、適宜、市に報告されているか。	<input type="radio"/>	修繕が必要な箇所は事前に所管課に相談報告の上実施し、完了後も報告している。	<input type="radio"/>	修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されている。	ヒアリング

評価項目1(3)の評価基準		
S 全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A 全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が△	
B 一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上	
C 不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上	

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)

A

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○ 適正（適切）である	
△ 一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	
× 不適正（不適切）である	

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	評価の根拠（資料名等）
	評価	評価理由		
・応募の資格に抵触する事項はないか。	<input type="radio"/>	抵触する事項はない	<input type="radio"/>	応募資格に抵触する事項はない。
(監査報告書等)	<input type="radio"/>	適正に行われている。	<input type="radio"/>	会計手続きが適正に行われていることを確認した。
・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	<input type="radio"/>			監査報告書
(監査報告書等)	<input type="radio"/>	指摘されていない。	<input type="radio"/>	異常事項が指摘されていないことを確認した。
・事業の仔細に関する異常事項が指摘されていないか。	<input type="radio"/>			監査報告書
(貸借対照表)	<input type="radio"/>	適正である。	<input type="radio"/>	貸借対照表
・資産・負債の中には大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	大きな前期比増減は生じていない。
(損益計算書等)	<input type="radio"/>	適正である。	<input type="radio"/>	損益計算書
・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	安定した財務状況となっている。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	<input type="radio"/>	適正である。	<input type="radio"/>	ヒアリング
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	<input type="radio"/>	影響する要素はない。	<input type="radio"/>	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。

評価項目2の評価基準		
S 継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A 継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○	
B 一部改善は必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上	
C 不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上	

評価項目2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）

A

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

<生涯学習交流センター>
昨年9月のオープン以降約1年が経ち、諸室の利用状況は平均で82%を越え、そして交流ロビーも毎日にぎわいを見せるなど、引き続き市民の皆様の交流の場・学びの空間として、親しみをもって利用していただけております。
昨年度までやはや低調であった夜間利用についても、今年度に入り平日や土曜日は予約で埋まる日も増えており、平日には、すべての諸室で利用区分すべてが予約が埋まるというのも珍しいことではなくなっています。
「場としての利用」にとどまらず、「生涯学習を認める」「学びの機会を増やす」く、様々な角度・年代へアプローチした自主事業イベントの実施（初心者向けワークショップの開催や多種多様なロビー活用事業の実施）に加え、「生涯教育のまち・枚方」の市民の素地によるものも大きいと思います。
また今9月には枚方モールのイベントである「ラウンジひらかた」の催しの一として、自主事業イベント「ローコーサート」を開催したところ、全2回の参加者は約200人と過去最高を記録するなど、枚方モールのイベントにぎわいを施設の利用者と還流し、また「交流センターからビルへ」という流れを生み出すことができました。さらに、同月にあになったセミナーまつりを兼ねた1周年記念イベントの「(k)not_hirakata2025」にさきには、日頃交流センターで活動されている団体やサークルの皆様の活動発表の場として役割だけでなく、近隣市の住民や沿線の在民といった「関係人口」増加へのつの施策として、音楽・アートストリートの「ターコイズ・枚方出身のプレースターによるトレーニング講座」、昨年も人気につづれあい移動水族館、地元で人気の飲食店による飲食物販売の実施等、地域の大小さまざまなイベントを10以上用意し、2日間で延べ1,000人以上の方に参加していただきました。これらのイベントを通して「他にはない」魅力的な講座・イベント等を通じて、生涯教育・社会教育への熱意・情熱を育て、地域のブランド価値を高めるような運営を行ってまいります。
<市駅前図書館>
新年度になりオープン後にぎやかさは落ち着きをみせ、利用件数・貸出冊数とともに6月ごろまで下降傾向にありましたが、これは年次替わりに伴う市民の生活環境の変化等が影響しているものと考えられます。その後7月からは上昇しており、夏休みにピークを迎みました。また、予約数は昨年から増加を続け、2024年10月と2025年9月では200%近く数字となっております。利便性を感じた市民が再利用してくださっている傾向が継続されているものと考えられます。枚方市駅設置の予約資料受取口カバーも微増ではありますが、利用は開始以来上昇傾向にあります。来館者は依然として高い水準を保っていますので、今後は図書館・センターのイベント等で来館される方や図書館利用につなげるべく工夫を加えていきたいと考えています。
事業としては、定期的図書館事業に加え、総合文化芸術センター主催「H-Artsフェスティバル」やステーションルーム「枚方ブックバザール」などの外部イベントに積極的に参加してまいりました。「H-Artsフェスティバル」「アラウンドひらかた」のように相互に利用者の循環を促進するうな効果が得られることは収穫であるとともに、「ひらかたブックストリート」では市駅周辺の書店や蔦屋書店と協賛するなど、図書館だけにとどまらない地域ぐるみでの読書推進活動が行なえたことが特に意義深いものだと確信しております。下期についてもすでに外部イベントへの参加や連携を企画しています。他組織との連携強化により、市駅前周辺での図書館のプレゼン向上、読書推進を図っております。
昨年度末に募集したボランティア事業では、おはなし会・配架作業等で研修会を計4回実施しました。特におはなし会研修は、枚方ブックバザールにて繋がりを得た市内書店様に講師をお願いをすることができました。9月から実際におはなし会・書架整理や配架作業をしていただけます。今後も図書館をきっかけとした市民の社会貢献活動を後押ししてまいります。
上期は地域の皆さんに支えながら、イベントやボランティア活動など、多様な取り組みを進めることができました。図書館が市内のさまざまな組織や個人と繋がることにより、市民に選んできていることを感じております。下期も皆さまに立ち寄っていただける図書館を目指し、親しまれる居場所づくりに努めてまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価

評価項目		評価結果
1 業務の履行状況		
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項		A
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）		A
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項		A
2 業務の継続性・安定性		A

総合評価の考え方

評価項目ごとの評価をそれぞれS = 4点、A = 3点、B = 2点、C = 1点として4項目（または3項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が1つ以上ある場合はその合計点数から1点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。
ただし、評価ポイントにおいて「1」「×」になっか理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

総合・評価判定表									
この評価表は、各評価項目ごとに評価結果を記入する欄と、総合評価結果を記入する欄があります。総合評価結果は、評価項目ごとの評価結果をもとに算出されます。									
評価項目									
評価結果									
評価結果									

(2) 二次評価コメント

<生涯学習交流センター>

1周年を迎える現在、計画どおりの安定した事業運営をされています。利用者へのアンケート結果からも、施設のきれいさと並んで施設職員の接遇の良さを評価する声が多く寄せられており、満足度の高さにつながったものと考えます。合わせて立地の良さからも諸室の利用率が非常に高いものになっています。図書館の利用者と共にされるロビーの賑わいや、イベント利用の多さ等が要因で、利用者の不満・要望への対応や調整にあることが多いと思いますが、引き続き丁寧な対応に努めていただきたいと思います。

イベントについても、職員講師による講座から著名人によるセミナーまで多種多様な事業を実施していただけており、交流センターの独自性を出した事業を企画・実施されている点は評価できるものです。特に連携事業では、市民・地域・民間（事業者）の各方面と地域連携を図り、生涯学習市民センターを通じて「街に咲いています」などの事業展開がされました。市民や地域を巻き込むことで、施設・地域・市民とともに成長・発展できる関係が生まれることだと思いますので、引き続き注力していただきたいと思います。また、ロビー事業では、訪れた人が気軽に参加できる多彩なメニューを用意され、人気の催しとして確立されてきていますので、今後においても「交流センターに来れば、何かやっている」「面白い何が出来えるか」という魅力的な企画を期待しています。一方、初心者向けワークショップ等では、幅広い層をターゲットに据えて企画され、中でも「ロードバイクに乗ろう」「盆栽×オマケで作る！ 手のひら盆栽マリオーランジョブ」といった従来のセンターではないような企画が見られました。若年層の参加者を拡大することは、市のセンター全体での課題となっているところでありますので、引き続き、若年層を念頭に置き工夫を凝らしていただきたいと思います。

<市駅前図書館>

1周年を迎えた京阪枚方市駅直結という立地条件もあり、利用状況は、高い水準を保っており、特に予約冊数は他分館との比較においてもトップレベルです。予約受取ロッカーの稼働率や返却ボストの利用率も高く、市民からの認知度もかなり上昇しています。また、貸出をはじめとする定例の図書館事業に加え、多数のイベント・行事を実施するのみならず、積極的に外部イベントへの参加・連携などを実施され、市立図書館のPR、利用者数の増加に貢献されていると考えます。

一方で、ボランティアとの協働においては、図書館に关心を持っておられる市民を図書館サポーターとして支援するなど、引き続き良好な関係を築いていただきたいと思います。今後とも駅前の商業施設やまるっと子どもセンターとの併設という強みを生かし、利便性の高い図書館として機能されることを望みます。

これからも従来の図書館のイメージの殻を打ち破る斬新な取り組みを期待するとともに、上期で取組継続中の事業や取組み予定の事業については、下期で計画通りに推進していただきたいと思います。

■ 5 改善指導への対応状況

これまでの定期モニタリング、日常モニタリング、外部評価その他監査等の結果をふまえて市が改善指導を行った事項について確認してください。

指示を行った時期	内 容	対応状況	根拠 (資料名等)
該当なし			

■ 6 添付資料

◆収支・利用状況